

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記の項目につきまして本年10月より検査方法・基準値等を変更させていただくことになりましたので、取り急ぎご案内申し上げます

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

変更期日

平成23年9月30日(日)受付日分より

変更内容

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
894302	HIV-1 RNA定量 《TaqManPCR法》	検査方法 容器 基準値 測定範囲	ロシリアルタイムRT-PCR法 TaqManPCR用容器血漿 (EDTA-2K) 血清は検査不可 結果:20 コピー/ml 未満 増幅シグナル: 検出せず 20 ~ 1.0×10 ⁷ コピー/ml	ロシリアルタイムRT-PCR法 TaqManPCR用容器血漿 (EDTA-2K) 結果:40 コピー/ml 未満 増幅シグナル: 検出せず 40 ~ 1.0×10 ⁷ コピー/ml	現行試薬の販売中止
510302	ヘリコバクター・ピロリ 抗体IgG	検査方法 報告上限値 所要日数	EIA法 100 U/ml 以上 (希釈再検不可) 3~5 日	EIA法 300 U/ml 以上 4~6 日	現行試薬の販売中止
670801, 77,79,99	bcl-2/J _H キメラ遺伝子 微小残存検出	報告様式 (報告表記) 基準値 備考	(-)/(+) (-) 本検査は転座検出範囲が限 られているため、染色体検査 で転座が認められても転座 由来のキメラ遺伝子を検出 できない場合があります。	別紙報告 微小残存を検出せず	報告様式と基準値の 変更
670001, 77,79,99	HTLV-Iプロウイルス px遺伝子	報告様式 (報告表記) 基準値	(-)/(+) (-)	別紙報告 検出せず	報告様式と基準値の 変更
879801, 77,79,99	HTLV-Iプロウイルス gag遺伝子				
878401, 77,79,99	EVB-IR3領域				
187402	HBc抗体《凝集法》	所要日数	3~5 日	5~7 日	所要日数の見直し
482602	抗アセチルコリン レセプター結合抗体	所要日数	4~7 日	6~8 日	所要日数の見直し

(注) 裏面もご覧ください

(株)チューケン 日本医薬中央研究所

熊本支社: 熊本市東野1-3-38 TEL: 096-360-3065

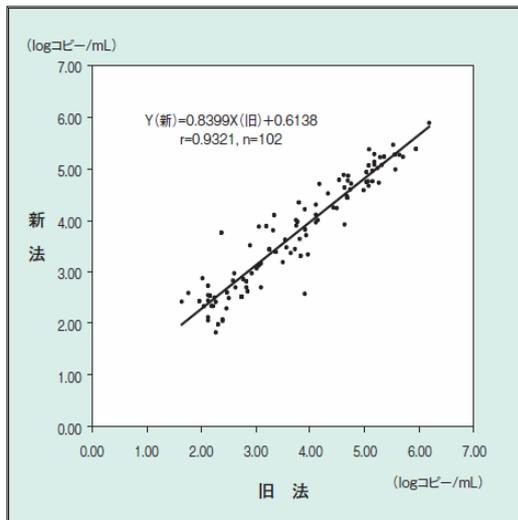
URL: <http://www.chuken-group.co.jp>

HIV-1 RNA定量

現行試薬の販売中止に伴い、HIV-1 RNA定量の測定試薬を同一メーカーが発売する改良試薬に変更致します。

改良試薬ではLTR領域を検出ターゲットに加えたことによりSubtype反応性が改善し、HIV-1 RNAグループMIに加えグループOも高精度に検出できるようになりました。

新旧二法の相関



採血容器



ヘリコバクター・ピロリ抗体 IgG

現行試薬の販売中止に伴い、ヘリコバクター・ピロリ抗体IgGの測定試薬を同一メーカーが発売する後継試薬に変更致します。

本変更に伴い、報告上限値が変更となりますが、新旧二法の相関は良好で、基準値の変更はございません。

新旧二法の相関

